

令和5年度

# くがはらコミュニティ・スクール NEWS No.1

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者や地域の皆様がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させながら、一緒に協働し、子供たちの豊かな成長を支えていく仕組みのことです。本校は令和4年度より、コミュニティ・スクールのモデル校として活動しています。

## 久原小学校 学校運営協議会

学校運営協議会は、自治会長、青少対会長、久が原特別出張所長、保育園長、元 PTA 会長、スクールサポートくがはらコーディネーター、現 PTA 会長、そして校長で構成されています。委員の皆様と力を合わせ、「地域とともにある学校」づくりを推進しています。各学校行事、授業公開等、様々な機会に学校をご訪問いただき、多様な御意見をいただいております。

### 「コミュニティ・スクール」として

学校の授業に地域の皆様に参加していただけるだけでなく、子供たちも地域に出て、様々な活動を行っています。

地域の方々とともに花壇に花を植える活動を行いました。この活動を通して、子供と地域の方がつながり、活動に関わった人も、植えられた花を目にした人も、心が明るくなる活動となりました。（「緑づくり活動」令和4年度）



## 令和5年度の取組

### <学校運営協議会の様子>

学校経営方針共通理解の下、現代の教育課題と、久原の子供たちの実態を加味し、学校教育の更なる改善のために意見をいただいています。



### <開校130周年記念

#### 座談会の様子>

今年で開校130周年を迎え、本校に様々な形で関わられている皆様にお越しいただき、久原小学校の昔のことやこれからのことについてお話いただきました。



### <道徳授業地区公開講座 開校130周年記念フォーラムの様子>

御自身が久原小学校の卒業生、または現在保護者として、学校、地域を支えてくださっている方々にお越しいただき、「わたしたちの久原小学校 ～開校130周年を迎えて～」というテーマでお話をいただきました。

～登壇者から子供たちへのメッセージ～

「久が原で育ち、ここから外に出て様々な体験をすることでこの久が原の良さを実感できる。久が原が心の支えになる。」

「その土地のことを知り、先人の知恵を知り、地域と関りをもつことで、居場所が“故郷”となる。」

「悩んでいい。人と会話をする力が大切。様々な人と関わり色々な経験することで、自分らしさが見付かる。」

